

タウンミーティング記録 未来に向けて 今、ここから

日 時 令和6年9月23日(月・祝) 午後2時～3時40分
場 所 コンフォール霞ヶ丘集会所 (霞ヶ丘自治会)
参加者 35人



主な意見等

参加者 東京の方でイチョウの枝が落下して男性が死亡したことがありましたが、西中央公園にイチョウ並木があるかと思いますが、安全性が確保されているか教えてください。

市 長 東京都の日野市で大きなイチョウの木の枝が落ちて運悪く亡くなられた方が出てしまいました。近年、樹木の落下による事故は非常に多くあります。日野市は死亡事故ということで大きく報道されましたが、小さな樹木の倒木や枝の落下などの事故は、全国的に起きています。

まちづくりを進めるうえで、街路樹や公園、学校敷地内の樹木について、樹木も生き物なので外見状はしっかりしているように見えても中が空洞になっている場合があります。最近多いのはナラ枯れという被害が発生するなど色々ございます。

市内の樹木の全てを検査することは難しいと思います。市では外見を見ながら、公園の設置年月や街路樹の設置時期など樹齢を調べて樹木医の診断を受けています。その中で危険性を低減するために危険であると判定されたものについては伐採を行っています。

また、かなり樹齢の古い樹木で枝が張り過ぎて支えられていないものについては、強剪定を行っています。強剪定は枝の根元から切って

しまう場合もあり、保存を求める方々からはお叱りを受けることがあります。万が一の事故に備えなければならないことから、可能な限り樹木の安全性を確認して行っています。

ご質問の西中央公園の樹木については危険と判定された樹木は見受けられない状況です。一時的な局所的な突風により倒木する事例がありますので、可能な限り危険性を軽減するための方策を取らせていただいております。

参加者 霞ヶ丘に長年住んだことがあり、年を取ってから戻ってきましたが、昔の霞ヶ丘はグラウンドがあり、お盆には盆踊り、運動会がありました。今はイベントが何もありません。

最近では駅前の商店街でお酒を飲んだり、朝まで寝たりしている外国人が結構います。警察にも言いましたが相談に乗っていただけませんでした。これから住まれる方にとっても良い環境ではないと思います。

駅前商店街が気持ちよく通れるような街でないと皆さんが避けられると思います。街の作り方を条例化するなど考えていただけないでしょうか。

市長 他のタウンミーティングでも西口駅前の環境はどうにかできないかご指摘をいただいております。

再開発によって広いスペースを作り出しましたが、残念な状況が見受けられます。今まで設置していた樹木の周りのベンチを腰が掛けられる程度のものに取り替えたり、駐輪が乱れているときはヤオコーと協力して整理するなど行ってまいりました。

外国人の方全てが悪いわけではありませんが、人が溜まって違う国の言葉でアルコールを飲んで少し大声になってしまっていると不安に感じてしまう状況が見受けられます。警察に言っても犯罪行為を行っていないければ対応はできない状況です。飲酒できないようにすることの提案をいただきましたが、お祭りやイベントのときもありますので、線引きをするのは難しい状況です。条例化も含めて一定程度の制約や制限を設けて、何か特別な催し物があるときは特例的なものを設けられないか、一番身近にお住まいの方からのご意見ですので、今後の検討課題にさせていただければと思います。

参加者 最近、災害が色々なところで発生しています。高齢になると持って逃げる物として、簡易トイレやラジオ、懐中電灯など揃えるのが難し

いです。災害の際に持っていった方が良いものを一つにまとめたリュックなどを費用負担しても良いので、市で準備することはできないでしょうか。

また、避難する場所について配付されていますが、高齢者の中にはわからない方もいます。そのような物もまとめ災害の際に持っていくものをまとめた物を準備していただきたいです。東京都で1万円くらいの費用で配付したと聞いたことがあります。

市長 他市の事例を調べてみます。最低限必要の物を揃えることも高齢の方や身体の不自由な方などは難しいかと思います。併せて避難場所の地図など取り揃えたものをお金が掛かっても用意する体制を整えていただきたいという貴重な意見ですので、持ち帰ってどのように用意することができるのか、民間企業と協力してこのような物を購入すれば届くなど検討してみたいと思います。

参加者 上福岡駅西口のエレベーターのところに空き地があるかと思いますが、何かに利用されるのですか。

市長 将来的にどのように活用するか検討しています。まだ、決まっていますが、駅舎も古くなっているから、東武鉄道に駅舎の建て替えを行わないか持ち掛けていますが、耐震強度に問題がないことから費用はこれ以上掛けたくないと言われてしています。

西口は再開発で広くなりましたが、東口の駅前には狭いことから、完成形ではありませんが、小さな交通事故も発生していることから歩道橋を架けさせていただきました。

これまでは2つの高校のスクールバスが中央公園に来ることから朝夕と高校生を含め人流が多かったことから、学校に学生は歩道橋を歩くようお願いし、人流を分散させて高齢の方がエレベーターに行きやすい環境を作りました。

西口に関しても、階段を付けていただきたいなどのご意見をいただきましたが、今の乗降客数では少し回れば上がる事が出来ますので、東口駅前広場を作るときに用地の協力をいただいた方の代替地に活用するなど考えています。それまでの間は商工会にお願いして暫定的な利用するなど考えています。

参加者 福祉の喫茶店があると良いと思います。他の場所で作ったものを売るだけなので、ちょっとした建物であれば取り壊しもできるかと思います。福祉のことで利用していただきたいと思います。

市長 市としては、誰かに貸し出すのではなく、例えば商工会に委託して活用していただく中で、一区画を福祉に利用していただくなど方法はあるかと思います。

参加者 霞ヶ丘は地震に強い地域だと思いますが、災害があった際に避難場所の学校にはどのくらい避難することができますか。大まかに500人くらいなら避難することができるなど、どこの地域ならどのくらい避難することができるのか教えていただけないでしょうか。ゆっくり行った方が避難できなければ困ってしまいます。

市長 私たちの説明不足で市民の方に伝わっていない部分かと思います。市内には小学校が13校、中学校が6校あります。2箇所水害地域に該当することから避難所になっていないところもありますが、それだけの学校で全ての住民の方を受け入れることは困難です。避難場所や避難所と言われるところは、能登半島地震や阪神淡路大震災、東日本大震災でも、そのままでは自宅で暮らすことができない方々が、学校施設であれば体育館や教室を使用して寝泊まりしていただきます。

その間に被害状況に合わせて仮設住宅を建てるのが、通常に対応になります。電気や水道が使えないけれども家で暮らすことが出来る方は極力家で暮らしていただくのが原則になります。

霞ヶ丘や上野台の団地については、耐震性に優れていると思いますので、建物の構造上被害は少ないと思います。ただし、電気、水道、ガスの供給ができなくなる可能性は高いと思いますが、可能であればご自宅で暮らしていただければと思います。

ふじみ野市でも一定の災害が起きたときに、この位の被害が生じるであろうと見込みを立てています。被害の大きい地域の方が、被害が少なかった地域の避難所に避難するなど工夫をしながら避難生活を行うことになります。

地震が起きたら必ず避難所で暮らしていただくのではなく、自宅で暮らしていただくことになります。水がでなくトイレが使えなくても水洗トイレであれば、ペットボトルの水で流すことができます。それが難しい場合でも集会所の前に仮設トイレを設置するなどして、暮らしていただくことになります。

体育館の収容人数につきましては、計算式がございますが、今日は資料を持ってきていないことから、詳細の人数を申し上げにくい状況です。ご高齢で一人暮らしの方は心細いから皆と一緒にが良いな、その

後の余震も心配だということがあれば集会施設なども使いながら皆さんで共同生活をしていただくことになるかと思えます。

参加者　　イオンが出来たところはイオンへ行くバスがありましたが、今はありません。ふじみん号に乗って行きは市役所まで行きますが、帰りはこちらまで帰って来るバスがありません。靴下一つ買うにも西友がなくなり、川越に行くなどしていますがイオンのバスはいつ再開しますか。

市　長　　イオンが民間のバス会社に依頼して行っていたものになりますが、廃止されてしまいイオンとしては、当面の間は送迎のバスを再開する考えはないかと思えます。市役所は関わっていないバスになります。

参加者　　市で送迎する考えはないでしょうか。

市　長　　今のところはありません。

参加者　　主人が免許を返納したことから不便さを感じています。今年は暑かったことから行きたくても行けませんでした。ふじみん号を使っても中途半端なところに戻されてしまいます。戻って来る手段があればイオンをもっと利用できるかと思えます。

市　長　　以前は市内循環バスとして、中型のバスが2台市内を走っておりまして。バスも旧大井町地域を運行していましたが、合併いたしましたので、旧大井町地域だけではなく、市内全体を運行することになりました。乗降客数を見た中で小さなワゴンにした方が、効率が良く台数も増やせることから、小型化を図り運行しています。

路線の見直しを図りながら行ってまいりましたが、ご利用される方の目的が合わないことから、そこまで行くなら真っ直ぐ進んで欲しいなどご意見があるかと思えます。循環しているので総合病院まで行くのに遠回りをしなければいけないなどありますが、色々な地域の方を乗せていく必要があります。

今後、場合によってはルートの見直しを行うことになるかもしれませんが、ふじみん号のルートも地域公共交通活性化協議会があり、東武バスや西武バス、タクシー会社、陸運局などが入り協議しており、ここを走ると民業圧迫になるなどバス会社に迷惑をかけるなど議論して決定しています。一番問題なのはバスの運転手が不足していることです。

参加者　　無人化してはいかがでしょう。

市　長　　ふじみん号の運行を受けている事業者も将来に向けて、無人化を考え

たいと話されています。

私は全国市長会の役員をしております、その中では国土交通省の方からも規制を緩和して、昔ながらのタクシーではなくライドシェアのように、例えば、幼稚園バスは登園と帰るときにしか使わないので、空いた時間帯に駅とイオンを結ぶ運行ができないのか、総合病院のバスもイオン経由で行くことができないかなど、相互利用ができる対応をしなければ人口減少社会になる中で、少ない人数で担わなくてはなりません。

介護施設のバスが朝迎えに行って、夕方送るまでの間は空いているので、そのようなことができないか、介護施設が運転手を集められないなら委託した際に、介護事業に関わった点数をつけるなど厚生労働省と国土交通省が検討しています。

今まででは考えられなかった新しい形態を作り出さなければならぬのかなと思っています。皆さんから出た意見を叶えるために、どんな方法を使ったらできるのか、小さな声が形になるようなふじみ野市流を作っていきたいと思っています。

貴重なご意見として受け止めさせていただきます。

参加者 今年の2月にふじみ野市に引っ越してきました。木造住宅が多く密集しており、道も入り組んでいることから大規模火災の延焼をどのように防止していくのか伺いたいと思います。

また、団地の水を飲まない方がいいと聞きました。全国的にPFASという水質の問題があります。ふじみ野市の水も安心して飲めるのか教えていただければと思います。

市長 木造住宅が密集した地域がございます。昭和40年代にインフラ整備が追い付かず、住宅が先に張り付いてしまい農道のまま公道になった地域が大半でございます。

能登半島地震の際にも輪島付近が一斉に消失することがございました。あのような状況になりますと食い止めることは困難な状況だと思っています。最大限努力はしますが、命を守ることが第一だと思っています。

災害の際は被害を大きくしないという課題はありますが、エリアに居住している方々の命を守ることが重要となります。拡大を阻止するのは消防力がどのくらい活動可能かということになってくるかと思っています。

東京湾北部地震や関東平野の北西縁部断層の地震が起きたときに

は、どのくらいの被害が生じるのかシミュレーションを行っていますが、災害はいつ起きるのかによって変わってきます。冬場であれば火を燃やしている暖房器具であったり、食事の調理をしている時間など災害の程度に影響してきます。今は火災を起こさせないような器具が普及していますので、関東大震災のような被害は生じないかと思いません。火災を起こさないことが大事であり、火災が起き自宅で食い止めることができなかつた際には、拡大していく火災を可能な限り食い止める努力はしていきたいと思えます。

団地の水については違つ話になりますが、PFASは基準が設けられており、国の基準からすると相当低い数値となっています。ふじみ野市の水道水は、上福岡側の水源井戸、大井側の水源井戸から汲み上げた水を使用しています。それぞれの水源井戸のPFASは国の基準より低い数値になっています。水源井戸から汲み上げた水と埼玉県から供給される荒川の水をブレンドして提供しています。

荒川からの水は県水と言いますが、ふじみ野市よりも低い数値になっています。PFAS等については、心配する必要がない状況です。

参加者 PFOS、PFOAの問題かと思えますが、基準は50 ng/Lになるかと思えますが、4つ源水があり1つからは20 ng/Lが1月か2月の検査で検出されています。私は上下水道の審議会に出席しており同じ質問をしています。ヨーロッパ基準とかWHOの基準は限りなくゼロに近い数値になっています。アメリカは4 ng/Lになっています。日本の基準は甘いと思えます。ふじみ野市の水はゼロに近いものにしていただきたいと思えます。また、マイクロプラスチックやナノプラスチックのことが問題になりました。マイクロプラスチックは海の問題と言われますが、河川、湖沼からも発見されていますので、そちらも問題にする必要があるかと思えます。マイクロプラスチックの採取方法や分析方法について論文で出ています。川から流れて海に行つてますので、元を断つ必要があるかと思えます。

内水氾濫は下水道が問題になってきます。管の繋ぎ目が弱いので、石綿管から取替えられているかと思えますが、ジョイントの部分を検査して欲しいと思えます。下水管は耐水圧がかからないと聞きましたが、耐水圧がかかるから内水反乱を起こすので考えていただきたいと思えます。

市長 水道管にしても排水管にしても耐水圧の関係は大きいと思えます。

戸建住宅も以前の鉄管を使っている住宅も宅内を回している管が衝撃を受けなくても水の流れて穴が開くという現象が起きています。

水道管につきましても石綿管の入替を行っており、令和7年度で終了します。下水道の一般管が50年と言われていています。その入替も発生してきます。水道料金は若干改定させていただき、今後の更新も含めて安全性を維持できる体制を整えていきたいと思いますが、かつての排水管については、時間雨量約50mmの想定で整備していますので、先日、一時的ではありますが、ふじみ野市内に台風は来ませんでした。影響で60mmを少し超える雨が降り排水できないことから、普段冠水しない場所でも冠水しました。

本下水以前の雨水を流している雑排水管は時間雨量を50mmで想定していますので、一時的に100mmや90mmの雨が降るとどこでもあり得る現象だと思います。

PFASについて補足をいただきありがとうございます。

参加者 商店街の救済について質問させてください。上福岡は古き良い店がたくさんあり、年配でやられている方が多くいます。経営的にも苦しいのですが、体力的に苦しいことが多いです。百番など50年以上経営してきたところが閉店しています。

一つの案として、飲食店に詳しい方に相談できる仕組みやちょっとした手伝いやマッチング支援的なものを市で考えられないでしょうか。

市長 私も商店街の出身でありまして、市長になるまでの約30年間、父が行ってきた商売の二代目として行ってきました。地元の経済団体である商工会の青年部の部長を務めさせていただき、商店会長も務めさせていただきました。親の代がいる中で若手筆頭ですが会長を務め、祭りがあれば商店会長が梯子に登り提灯を付けるなどし、リーダーとしての役割も行ってまいりました。

商工会の青年部にいると異業種の仲間たちが増えてきて、違った商売の苦勞が分かりました。お話があったとおり、ご高齢の経営者の方が困っていることを異業種の方の中で支え合う、助け合うことができるのか、マッチングアプリなどの発想は非常に大事だと思います。

ご高齢であっても工夫をしながら、昔は月3日くらいしか休みを取らないところを週1回の定休日に変更し、それを週2回にしたりする商店もありましたし、駅の東口にあるラーメン屋は金、土、日曜日に

しか営業していないところもあります。

この街は小さな商店が密集しているのは、東上沿線でも非常に稀な地域です。川越などでも一本に伸びる商店街はありますが、面的に広がりを見せており、夜に営業している店も含めると人口比率からすると新宿の歌舞伎町に匹敵すると言われました。規模は小さいですが、そのくらいの比率と言われました。

経営者の方が高齢になり、体力的に厳しいとどんな工夫があったらいいのか、市役所でも産業振興課と商工会が一緒になって何とかしていこうと取り組んでおり、救済できるような仕組み作りには力を入れていきたいと思います。